

平成29年3月期 第2四半期決算説明資料

平成28年11月7日



エムケー精工株式会社

証券コード:5906



平成29年3月期 第2四半期の決算概要

平成29年3月期 第2四半期の総括

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いております。しかし、海外経済では弱さがみられ、英国のEU離脱問題やアジア新興国・資源国の景気下振れが懸念されるなど、景気動向は不透明感が漂う状況で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では激しい価格競争が続く厳しい経営環境にありました。

こうした状況のもと当社グループは、持続的成長と健全な企業体質への改善に向けて「モノづくりの匠へ」を当期のスローガンに掲げ、モノづくりの原点に立ち返り、顧客視点での商品開発、更なる合理化・コスト削減を図り、生産性の向上に取り組んでまいりました。また、IT基盤や人材育成といった経営インフラの整備や積極的な情報発信によるブランド力強化に努めるなど、全社一丸となって諸施策を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は100億5千5百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は6億7千8百万円(前年同期比42.7%増)、経常利益は6億8千5百万円(前年同期比46.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千2百万円(前年同期比38.6%増)となりました。

平成29年3月期 第2四半期の業績

<連結業績>

単位：百万円

	28年9月期	27年9月期	対前期比
売上高	10,055	9,718	103.5%
営業利益	678	475	142.7%
経常利益	685	467	146.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	412	297	138.6%

平成29年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	28年9月期	27年9月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	12,025,521	12,286,266	△260,744
現金及び預金	1,849,458	1,953,153	△103,695
受取手形及び売掛金	4,852,566	4,718,844	133,722
たな卸資産	4,995,113	5,335,578	△340,464
その他の流動資産	328,382	278,689	49,692
固定資産	9,222,968	9,532,890	△309,922
有形固定資産	6,049,982	6,011,671	38,311
無形固定資産	1,152,092	1,286,523	△134,430
投資その他の資産	2,020,893	2,234,696	△213,802
繰延資産	497	1,492	△994
資産合計	21,248,987	21,820,649	△571,662

平成29年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	28年9月期	27年9月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	8,668,036	8,385,378	282,657
支払手形及び買掛金	1,420,915	1,355,837	65,077
短期借入金	2,210,000	2,200,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	577,987	824,018	△246,031
未払金	3,205,251	3,145,879	59,372
その他の流動負債	1,253,882	859,644	394,238
固定負債	2,804,326	3,559,603	△755,276
社債	—	100,000	△100,000
長期借入金	2,344,833	2,922,820	△577,987
その他の固定負債	459,493	536,783	△77,289
負債合計	11,472,363	11,944,982	△472,618

平成29年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	28年9月期	27年9月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	9,625,946	9,232,590	393,355
資本金	3,373,552	3,373,552	—
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	—
利益剰余金	3,811,674	3,418,319	393,355
自己株式	△510,424	△510,424	—
その他の包括利益累計額	150,677	643,076	△492,398
その他有価証券評価差額金	153,089	280,279	△127,190
繰延ヘッジ損益	△24,330	△505	△23,824
為替換算調整勘定	△80,309	188,155	△268,465
退職給付に係る調整累計額	102,228	175,146	△72,918
純資産合計	9,776,624	9,875,667	△99,043
負債純資産合計	21,248,987	21,820,649	△571,662



平成29年3月期 第2四半期連結損益計算書

単位:千円

	28年9月期	27年9月期	増減額
売上高	10,055,043	9,718,462	336,580
売上原価	6,610,369	6,598,113	12,255
売上総利益	3,444,674	3,120,349	324,324
販売費及び一般管理費	2,765,696	2,644,412	121,284
営業利益	678,977	475,937	203,040
営業外収益	54,987	50,950	4,036
営業外費用	48,264	59,809	△11,544
経常利益	685,700	467,079	218,621
特別利益	6,868	9,042	△2,174
特別損失	1,420	2,687	△1,267
税金等調整前四半期純利益	691,149	473,434	217,714
法人税等及び法人税等調整額	278,455	175,681	102,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,693	297,752	114,941

平成29年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	28年9月期	27年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△491,096	△140,699	△350,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,199	△331,137	71,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	687,382	434,725	252,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,781	6,589	△45,371
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△101,695	△30,522	△71,173
現金及び現金同等物の期首残高	685,508	675,090	10,417
非連結子会社との合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	5,862	△5,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	583,812	650,431	△66,618

平成29年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

＜平成28年3月21日から平成28年9月20日まで＞

単位：千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成28年3月21日残高	3,373,552	2,951,143	3,514,990	△510,424	9,329,262
当第2四半期連結累計期間中 の変動額					
剰余金の配当			△116,009		△116,009
親会社株主に帰属する 四半期純利益			412,693		412,693
株主資本以外の項目の 当期間中の変動額(純額)					
当第2四半期連結累計期間中 の変動額合計	-	-	296,684	-	296,684
平成28年9月20日残高	3,373,552	2,951,143	3,811,674	△510,424	9,625,946



平成29年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位：千円

	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計	
平成28年3月21日残高	174,205	△32,029	162,794	87,612	392,582	9,721,844
当第2四半期連結累計期間中 の変動額						
剰余金の配当						△116,009
親会社株主に帰属する 四半期純利益						412,693
株主資本以外の項目の 当期間中の変動額(純額)	△21,115	7,699	△243,104	14,616	△241,904	△241,904
当第2四半期連結累計期間中 の変動額合計	△21,115	7,699	△243,104	14,616	△241,904	54,779
平成28年9月20日残高	153,089	△24,330	△80,309	102,228	150,677	9,776,624

セグメント別分析

■ オート機器事業

主力製品の門型洗車機は、昨年引き続き政府補助金制度の効果により、SS業界の需要が好調を維持するとともにドライブスルー機など高級機の割合が増加し、カーディーラー及び整備工場においても堅調に推移しました。また、オイル機器ではCVT&ATオートチェンジャーやエアコンフレッシュャーが新機種効果により販売台数を伸ばしました。その結果、売上高は前年同期比2.0%増の68億9百万円となりました。

■ 情報機器事業

一般店舗向け小型表示機は、継続的な価格競争の影響を受け苦戦を強いられましたが、工事用表示機及び官需関連の道路情報板は受注数が増加し、全体としては順調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比21.3%増の9億4千1百万円となりました。



門型洗車機



一般店舗向け小型表示機

セグメント別分析

生活機器事業

市場環境は消費者マインドが好転せず、一般家庭向け商材、農家向け商材ともに厳しい状況が続きましたが、一般家庭向け商材は概ね昨年並みに推移しました。一方、農家向け商材は昨年度新発売した保冷精米機が一巡し伸び悩んだものの、主力の農産物低温貯蔵庫及び保冷米びつは猛暑の影響により売上が伸長しました。その結果、売上高は前年同期比4.2%増の16億6千3百万円となりました。

住設機器事業

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として天然木とアルミをハイブリッド結合した高断熱建具と反射板式消音装置等の製造・販売を行っております。木・アルミ複合断熱建具は、地場産の木材利用促進により引き合いが増加し、またCO₂排出削減に寄与する断熱システムの評価も高まっており、今後の受注増が期待されるものの、主要取引先である建設業界は依然として受注競争が激しく、売上高は前年同期比3.5%減の5億3千7百万円となりました。



農産物低温貯蔵庫



アルタスウッドスクリーンの施工例

セグメント別分析

■ その他の事業

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。保険代理業、不動産管理・賃貸業は昨年並みで推移したものの、ホテル業は価格競争による厳しい環境が続いており、売上高は前年同期比8.2%減の1億3百万円となりました。



長野リンデンプラザホテル

平成29年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成29年3月期の業績予想

<連結業績>

単位：百万円

	29年3月期(予想)	28年3月期(実績)	対前期比
売上高	20,500	20,459	100.2%
営業利益	550	626	87.7%
経常利益	500	624	80.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	394	76.1%

平成29年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

平成29年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり期末配当金
平成29年3月期(予想)	8円00銭
平成28年3月期(実績)	8円00銭

參考資料

当社の経営方針

■ 今後の経営方針

当社グループは、企業理念「求・消・営」のもと、お客様（消費者）をすべての中心に据え、お客様に求められる製品とサービスを提供するための営業に努めてまいりました。また、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案・自社販売」を基本方針として、研究開発型企業を志向しております。

なお、当社グループを取り巻く環境は時々刻々と変化しており、また、これに伴い顧客ニーズやビジネスモデルが益々多様化しております。こうした変化や多様化に敏感かつ柔軟に適応すべく、モノづくりとサービス提供との高度な融合にチャレンジし続けてまいります。

中長期的な経営戦略

■ 中長期的な経営戦略

今後の経済見通しは、国内景気は減速傾向となることが懸念され、また海外の経済環境も厳しい状態が続くものと予想されます。

当社グループは、こうした経済環境に左右されることのない、質実で健全な企業へと体質改善を図るため、以下の課題に取り組んでまいります。

①新商品、新規ビジネス

企業体質の強化には、新商品や新規ビジネスの開発が必要条件であり、顧客の視点に立ったモノ、サービス及びデザインを志向し発想できる組織と人材が必要です。このため、組織を超えた部門、拠点の連携や人的リソースの最適化を図り、新たな商品戦略、事業戦略及びブランド戦略を推進してまいります。

②ブランドの強化

当社グループが広く認知され、有益な情報発信ができるよう、ブランド強化を図ってまいります。その活動としては、対外向けのコーポレートブランディング、グループ内のインナーブランディング及び学生等に向けた採用ブランディングがあり、相互に連携させ総合的な強化、改善に努めます。

中長期的な経営戦略

③生産性の向上

当社グループにあって、引き続き生産性の向上が最重要な課題の一つです。更なる合理化、コスト低減を目指し、設計、生産、販売の各プロセスから調達先に至るまで、聖域なく見直してまいります。また、工場の設備、レイアウトや人員配置など、投資効果と事業継続の観点から間断なく最適化を図ってまいります。

④経営インフラの整備

企業体質を健全に保つには、IT基盤や人材育成といった経営インフラを整備し充実させることが不可欠です。IT基盤を整備、改善し、これを利用することにより、当社の人材育成の課題とする、(a)労働環境の改善、(b)公平な人事評価の構築、(c)知的財産のマネジメントといった事項の改善を図ってまいります。

⑤財務基盤の強化

言うまでもなく、企業にとって財務基盤を強化することが健全化への必要条件です。在庫管理、合理化及びVA(価値分析)の徹底といった基本的な活動を重ねるとともに、為替変動、金利上昇などの外部環境変化や各事業の進捗に基づき、キャッシュフロー及び資金調達の最適化を図ってまいります。

研究開発活動

個人消費は依然として楽観視ができない状況が続いており、また、円安によるエネルギー及び原材料費の変動がある中で市場では厳しい価格競争が続いています。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

■ オート機器事業

門型洗車機では、3ウェイドライブスルー機のアイテックス「アプリス」及び「フィーア」についてモデルチェンジを行い、5.5kw送風機や送風ノズル可変機構を搭載可能にするなど、洗車性能を大幅に向上するとともに、各部の安全装置の見直しを図り安全性能も向上しました。新機能オプションとして、CCDカメラによるビジュアルセンサー機能を進化させ、カメラを増設することで洗車中の車輻撮影を行う「ドライブレコーダー機能」も搭載可能としました。

自動車整備機器では、高価な次世代冷媒ガス1234yfを高精度で充填再生することが可能なエアコンプレッシャーの高機能モデルを開発しました。また、カラータッチパネルと音声ガイドが搭載されたCVT&ATチェンジャーでは、ゲージレス車の下抜き作業性を大幅に改善するとともにフルード劣化診断機能を搭載したモデルを開発しました。

研究開発活動

情報機器事業

公官需向けでは、道路情報板として民需向けカラー表示機をベースとした新型表示機の開発を行いました。

民需向けでは、店舗向けの中型表示機に多言語表示機能を搭載するモデルチェンジを行いました。さらに、この機能をベースに新しいサービスを提供していくプラットフォームを構築しています。また、SS向けとして、油種及び価格表示機能を搭載したフルカラー表示機の開発を行いました。工事関連、道路維持管理向け表示機は、昨年度開発した表示機に新機能を追加しました。

その他、災害時に重要装置の稼動を継続するための非常用電源装置を開発しています。

生活機器事業

農家向け商材では、防錆処理を施した冷却ユニットを搭載することにより漬物貯蔵が可能な低温貯蔵庫及び3袋の玄米を収納可能な小型低温貯蔵庫の開発を行いました。小型低温貯蔵庫は、新たな提案商材マルチクールストッカーとしてホームセンタールートでの販売も開始しました。また、パワーリフターについては途中停止機能を追加しました。

家電商材では、3～5合の小容量のもち作りに蒸し料理やねり機能を備えた小型もちつき機と、焼き芋やヨーグルトも手づくりできるホームベーカリーの開発を行いました。

収納商材では、新たに幅10cmのスリム米びつの開発を行いました。また、レンジ台やダストボックスについては、新機能を盛り込んだモデルチェンジを行いました。

研究開発活動

■ 住設機器事業

木・アルミ複合断熱窓シリーズでは、見付けがスリムな障子の「ワイドネスウインドウ」と木製を主体にしたリフトスライディング開閉方式の「ヘーベシーベフェンスター150」のそれぞれに4本レールタイプを開発し、多重引きの要求を更にバージョンアップしました。これにより約10mの大型開口が可能になりました。

新商品の「ジーマード」シリーズでは、バリエーションとして掃出しタイプの窓の開発を進めています。

新製品情報

■ オート機器

【セルフサービスSS向け門型洗車機 [アプリス XS-903]】

セルフサービスSS向けのドライブスルー洗車機です。

新しい画像解析システムを搭載したスラントスキャンSP、オプションながら業界初となる洗車状況を記録するドライブレコーダーの搭載、サイドブラシを前後方向に傾斜させて洗浄エリアを拡大したチルトサイドブラシなど、全てに進化した洗車性能で革新的な安全性と美しさを実現します。



新製品情報

■ オート機器

【CVT/ATフルード交換機

【CVT&ATオートチェンジャー TF-3000Z】

業界初となるゲージレス車の下抜き全自動交換を可能にした、画期的なフルード交換機です。

油量調整は自動車メーカー指定の手順を採用し、正確な交換作業を実現しました。

操作は、5.7型カラータッチパネルを採用しインジケータと音声で安全操作をサポートします。

従来機の上抜き全自動と下抜き全自動の両方に対応し、国産車のほとんどの車種で交換が可能です。



新製品情報

■ 情報機器

【フルカラークオリエ FQ4043】

フルカラー表示機「FQ4043」を発売しました。

従来のFQシリーズのラインナップとして最大画面サイズとなり、ロードサイド店舗で誘客効果を発揮します。

本商品は新たにガソリン価格の入力機能を搭載し、日々の価格変更の手間を低減でき、またゴシックとデジタルフォント2種類のフォントを搭載するなどガソリンスタンドに特化した仕様となっています。



新製品情報

生活機器

【ミニもちつき機「ミニもっち」】

少人数で食べきれる3～5合のおもちが手軽に作れる「ミニもちつき機」を発売しました。

スピードひたし機能付きで、ひたしからつき上がりまで約2時間でコシの強い本格的なおもちが作れます。

おもちの他にも蒸し・ねり機能を使って蒸し野菜、茶碗蒸し、お赤飯、パン・うどんの生地なども作れ、一年通じて便利に使えるマルチクッカーです。



株主優待制度のご案内

株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株数	ご優待券
1,000株 ~ 1,999株	2枚
2,000株 ~ 3,999株	3枚
4,000株 ~ 9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

有効期限

発行年の翌年6月30日



長野リンドンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

エムケー精工株式会社

管理本部

TEL : 026-272-0601

E-mail : soumu@mkseiko.co.jp